



統計スポット情報

No. 29

11.8.31

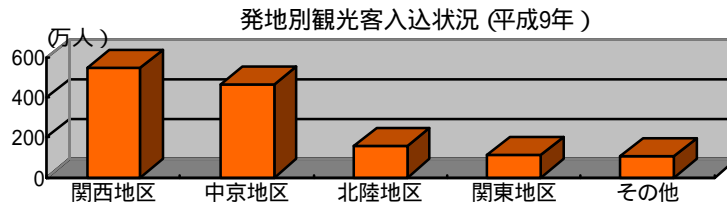
福井県総務部情報政策課

平成11年版「統計からみた福井のすがた」から

今回は、先に発行しました平成11年版「統計からみた福井のすがた」の中から、身近な話題を取り上げました。

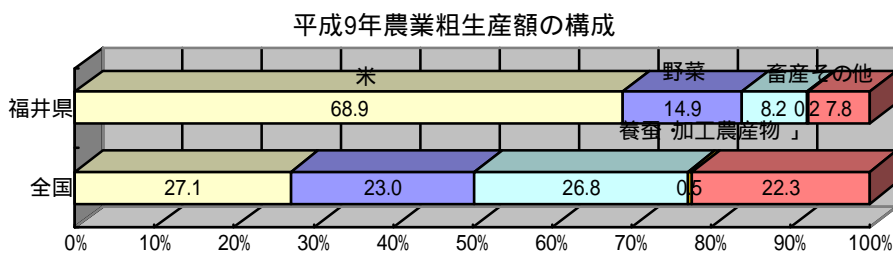
話題1 県外からの観光客を地域別に見ると、どの地域からの観光客が最も多いか
ご存じですか？

答 それは関西地区です。平成9年の県外からの観光客は、1,393万人でした。これを地域別にみると、関西地区が550万人、中京地区が467万人、以下、北陸地区159万人、関東地区113万人などとなっています。関西および中京地区からの観光客が全体の73%を占め、これらの地区にとって福井県は身近な観光地になっていることがわかります。



話題2 福井県の農業生産額のうち、米の生産額が占める割合はどのくらいか
ご存じですか？

答 それは約7割です。平成9年の福井県の農業粗生産額は約635億円ですが、そのうち68.9%を米が占めています。その次が野菜の14.9%、畜産の8.2%などとなっています。全国でみると米は27.1%、野菜が23.0%、畜産が26.8%などとなっており、福井県は米の比率が非常に高いことがわかります。



話題3 平成10年3月の高等学校卒業者の就職先で、最も多かった業種は何か
ご存じですか？

答 それは製造業です。男女とも製造業が一番多く、次いで多いのは、男子は建設業と卸・小売業、飲食店で、女子はサービス業と卸・小売業、飲食店というのが特徴です。

